

電気通信大学 平成18年度シラバス

| | | | |
|---------|-------------------------------------|----------|--------|
| 授業科目名 | メディアコミュニケーション学基礎論 | | |
| 英文授業科目名 | Fundamentals of Media Communication | | |
| 開講年度 | 2006年度 | 開講年次 | |
| 開講学期 | 前学期 | 開講コース・課程 | 博士前期課程 |
| 授業の方法 | | 単位数 | 2 |
| 科目区分 | 電気通信学研究科-人間コミュニケーション学専攻-基礎科目 | | |
| 開講学科・専攻 | 人間コミュニケーション学専攻 | | |
| 担当教官名 | 渡邊 成良 | | |
| 居室 | 総合研究棟 8 2 5 | | |

| | |
|------------------------|------------|
| 公開E-Mail | 授業関連Webページ |
| watanabe@ice.uec.ac.jp | |

| |
|---|
| 【主題および達成目標】 |
| メディアコミュニケーション学を構成する諸分野を紹介するとともに、それら諸分野の間のコラボレーションによってどのような知が形成されるか、どのような研究が可能になるかを、それぞれの講師による講義とディスカッションを通じて浮かび上がらせる。 |

| |
|-------------------------|
| 【前もって履修しておくべき科目】 |
| なし |

| |
|------------------------------|
| 【前もって履修しておくことが望ましい科目】 |
| なし |

| |
|---------------|
| 【教科書等】 |
| 各担当者が指定する |

【授業内容とその進め方】

授業には、メディアコミュニケーション学講座所属教員の全員が参加する。

- 1.イントロダクション 4月13日 全員
- 2.前半(担当:兼子、坂本)
 - (1)総論:メディアのデザイン・分析・相互作用 4月20日 担当者全員
 - (2)トピックス1:メディアのデザイン 4月27日 兼子
 - (3)トピックス2:メディアの分析 5月11日 坂本
 - (4)トピックス3:メディアを介した相互作用 5月18日
レポート作成用に一週間開ける
 - (5)ディスカッション 6月1日 担当者全員
- 3.後半(担当:渡辺、児玉)
 - (1)総論:メディアの認識と表現 6月8日 渡辺、児玉
 - (2)トピックス1:言語理解とコミュニケーション 6月15日 渡辺
 - (3)トピックス2:メディアアートとコミュニケーション 22日 児玉
 - (4)トピックス3:アートとバーチャルの世界 6月29日
レポート作成用に一週間開ける
 - (5)ディスカッション 7月13日 渡辺、児玉
- 4.まとめ 7月21日 全員

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

講義・ディスカッションにおける積極的参加と、レポートによって評価する。

【オフィスアワー:授業相談】

適宜相談に応じるが、電子メールで事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

この授業は、文理融合により生まれた、新しい学問分野であるメディアコミュニケーション学の背景となる概念や方法、メディアの認識とデザイン、表現と分析を把握できる重要な授業である。この分野の形成と推進に貢献する意欲をもって授業に参加して欲しい。

電気通信大学 平成18年度シラバス

| |
|-------|
| 【その他】 |
| なし |